

令和8年度全国学力学習状況調査を受けての今後の取組について

2026年9月2日

安芸太田町立加計小学校 教務部

★全国学力・学習状況調査とは

全国学力・学習状況調査は、文部科学省が全国の小学6年生と中学3年生を対象に実施している調査です。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校における学習指導の充実や改善に役立てることを目的としています。令和8年度は、小学校では国語・算数、中学校では国語・数学・英語の調査が実施されました。また、学習習慣や生活の様子などについて尋ねる児童生徒質問調査も実施されています。

本校の調査結果及び今後の取組について

(1) 児童の実態 ●令和8年度全国学力学習状況調査(6年生) 正答率

	国語	算数
加計小	65%	57%
広島県	64%	58%
全国	60.9%	56.4%

国語・算数ともに全国平均を上回っています！

(2) 課題が顕著だった項目

国語	算数
・資料を使って、自分の考えを分かりやすく伝えること。 ・習った漢字を正しく使うこと。 ・相手に伝わるように文章を書くこと。	・図形の意味や特徴を理解すること。 ・図を使って考え、問題を解くこと。 ・割合や比べ方(基準量、比較量、割合)を理解すること。 ・表から必要な情報を読み取ること。

(3) 取組

国語	算数
・問題文に線を引きながら、大事な言葉を見つける活動を取り入れる。 ・図や表を使って説明したり、友達に伝えたりする場を増やす。 ・「なぜそう考えたか」を言葉で説明する活動を取り入れる。 ・日常的に習った漢字を使って書く機会を設ける。	・ブロックやテープ図、数直線などを使って考える活動を取り入れる。 ・図や表から分かったことに線を引いたり、印を付けたりして整理する習慣を付ける。 ・「基準量」「比べる量」「割合」などの言葉を繰り返し使う場を設ける。 ・式だけでなく、「どう考えたか」を言葉や図で説明する活動を増やす。 ・考えを書く時間を十分に確保し、自分の考えを整理する力を育てる。

(4) 質問紙から見られる傾向

強み	弱み
・学級集団内の居場所があること ・教科学習自体への肯定的な捉え ・幸福感がある児童の多さ	・メディアを利用する時間が長い傾向があり、ルールが定着していない家庭がある ・教科学習への自信が十分に育っていない（特に国語）

～保護者の皆様へのお願い～

- お子さんが読んだ本や学校で学んだことについて、ご家庭でも話題にしていただけると、考えを伝える力を育むことにつながります。
- 買い物や料理、時計を見る場面など、日常生活の中で算数につながる場面に触れる機会を大切にいただけると、学習への理解が深まります。
- 宿題や家庭学習では、習った漢字を使って書くことを意識できるよう、温かく見守っていただけると幸いです。
- テレビやゲーム、スマートフォン、タブレットなどのメディアについて、ご家庭で使用する時間や場所などのルールを話し合い、適切に利用できるよう見守っていただけると幸いです。

★例えばこんな声掛けがあります★

牛乳200mlを計量カップに入れてちょうだい。

4人分のレシピを2人分にすると、材料はどうなるかな？

今日読んだお話で一番心に残ったところはどこ？

1000円で足りるかな？ おつりはいくらかな？

このグラフや表からどんなことが分かる？

この新聞には、何が書いてあるかな？

今日習った漢字、使って書いてみよう！

7時30分に出発するには、何時から準備を始める？